

# 特別支援教育課通信 北山の陽だまり



平成29年8月発行 (第28号)

【萩の花と研修センター】

センターの敷地内を歩くと、ススキの穂や萩の花が初秋の風にゆれています。森林に入ると、いろいろな種類のキノコがたくさん生えています。あっという間に夏は過ぎ、季節はもう秋なのです。

夏季休業中は、様々な研修講座や校内研修支援において、多くの先生方と有意義な研修を深めることができました。ありがとうございました。

学校現場においては、元気な子どもたちの笑顔や弾む声が戻ってきたことと思います。是非とも、研修したことを子どもたちに還元していただければと思います。

2学期は、運動会、体育祭、音楽祭、文化祭、宿泊学習・・・など、様々な学校行事が行われることと思います。先生方にも子どもたちにも、充実した毎日になることをご祈念いたします。

特別支援教育課長

## 特別支援学校（初任者）研修講座 所外宿泊研修の様子から

特別支援学校の初任者研修講座で、8月24日～25日の1泊2日、県立白浜少年自然の家において所外宿泊研修を実施しました。小・中学校の時に、ほとんどの先生方が宿泊学習を体験しています。しかし、野外炊飯やキャンプファイヤーを実際に行ったことのある人は、3分の2程度という実態でした。

今回は、「勤務校の児童生徒を安全に宿泊学習へ参加させるために、引率者としてどのようなことに留意するか」ということを意識しながら研修に取り組みました。

\*\*\*\*\*



白浜少年自然の家が北浦に近いこともあり、水に関する環境教育も取り入れられました。霞ヶ浦環境科学センター職員の指導のもと、「トンボ池」を守るためにどうするか話し合ったり、パックテストや透視度計を使って、水の汚れ具合を調べました。生活排水が川や湖の水を汚すことを実際に知ることによって、環境教育の大切さを改めて考える機会となりました。



宿泊学習と言えばキャンプファイヤー。前半は、茨城県キャンプ協会の指導員によるレクリエーションの体験や薪の組み方、キャンプファイヤーの進め方を実際に行いました。日が沈み、いよいよキャンプファイヤースタート。火を囲み、各グループで考えたスタンプやレクリエーションで大いに盛り上がりました。受講者の中には8月24日生まれが何と3人も！心温まるサプライズ誕生会も行われました。

\*\*\*\*\*



こちらも宿泊学習の定番「野外炊飯」。協力しながらおいしいカレーを作ります。マッチの擦り方や火起こしができない先生も…やはり体験の必要性を実感しました。しかし、さすが先生たち！各自の役割をしっかりとこなし、どこの班もおいしいカレーライスが出来上がりました。

\*\*\*\*\*



最後に「特別支援学校における集団宿泊学習の在り方」について研究協議を行いました。「白浜少年自然の家に宿泊学習に来るとしたら子供たちにどんな体験活動をさせたいか？」という観点から、グループで活動プログラムを作成し、紙芝居にまとめてプレゼンテーションをしました。「めざせ白浜マスター」「夜の虫取りツアー」「星に願いを」…など、発想豊かなプログラムが報告されました。

\*\*\*\*\*

参加した先生方からは、「担当している生徒を引率する視点で研修に取り組むことができた」「白浜での宿泊研修を通じて、同期の先生方との絆が一層強くなったことを実感した」…などの感想を聞くことができました。残暑厳しい中でしたが、初任者67人全員、充実した2日間の宿泊研修を終えることができました。